

カケハシ

弁護士サッカーW杯



※2列目左から3番目が小沼さん

【特集】 P2～3

座談会「防災を考える」

【いきいきライフに乾杯!】 P4

「被害の記憶を後世に」

初の主将に!



弁護士
こぬま

小沼

まさき

正毅さん(35歳)

今年5月のスペイン南部のラ・マンガで弁護士のサッカーW杯「ムンディ・アボカ」に出場、主将を務めた小沼正毅さん。

今回は36ヶ国から100数チームが参加した。カテゴリーが4つある中で年齢制限の無いクラシックチームに参加して、大会での成績は6得点し、得点ランキングで4位に入った。「ムンディ・アボカ」は、フランス語で「世界の弁護士」を意味し、出場できるのは弁護士のみで、2年に1度開かれる。

小学校からサッカーを始め、大学3年のころ、ムンディ・アボカについて知った。「弁護士になったら世界大会に出られる」と、司法試験のモチベーションの

一つになった。練習はフットサルや自主トレに励んでいる。

多忙な仕事の中でサッカーをやるのは大変だが世界の人たちとの交流を通じて、友達が沢山できる。

今回は家族も一緒に同行して、世界の友達との交流を楽しんだ。地方だからとかアマチュアだからとかいうことなく広く世界で活躍できる良い機会だ。

「カテゴリーが年齢を重ねてもやっていけるので、これからは日本が優勝できるチーム作りをやりたい」と語る、家族思いで音楽や旅行が大好きな2児の父親の小沼正毅弁護士でした。